



wreath
リース

Self-help groups by everyone's side.

ANNUAL REPORT

年次報告書

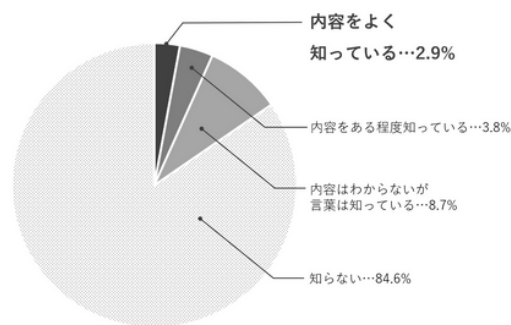
2024



わたしだけじゃなかった と思える社会に

一般社団法人wreath(リース)は、どのような悩みや生きづらさを抱えたとしても支えあえる社会の実現に向けて、セルフヘルプグループを必要としたときにつながれる仕組みづくりに取り組む団体です。

セルフヘルプグループは誰しが必要としうる場ですが、セルフヘルプグループについて「内容をよく知っている」と答えた人は2.9%と、十分に知られていません。そうしたことから、セルフヘルプグループを必要とするような状況にあったとしても参加につながりづらく、またグループを安定的に開催するためのサポートも限られています。



一般社団法人wreath 2024「セルフヘルプグループの認知度に関する調査」

そこでわたしたちは、セルフヘルプグループを必要としたときにつながれる仕組みづくりとして、セルフヘルプグループのプラットフォームの運営、セルフヘルプグループ運営のわかちあいの場の開催、セルフヘルプグループに関する調査・情報発信に取り組んでいます。



セルフヘルプグループって？



セルフヘルプグループは、「共通の悩みや生きづらさがある当事者が運営しているグループ」といわれます。悩みや生きづらさをわかちあうことで「一人ではない」と思えることがあります。病気や障害、依存症、不登校、引きこもり、子育て、介護、性的マイノリティなど、本人や家族を対象にしたさまざまなグループがあります。

* セルフヘルプグループは、自助グループ、当事者会、家族会、患者会などと表現されていることもあります。

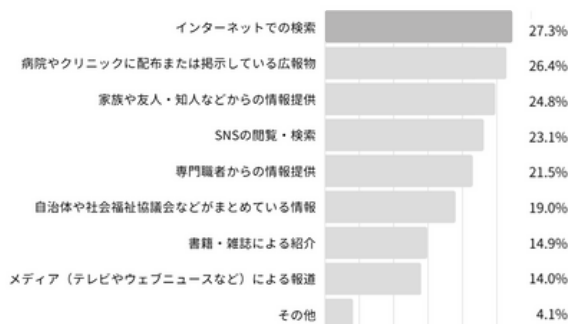
セルフヘルプグループのプラットフォーム

wreath

2024年4月に「セルフヘルプグループのプラットフォーム wreath」のβ版をリリースし、登録グループ数は26、投稿ミーティング数は約280となりました。ご利用いただいたグループの方々からご意見をうかがいながら利用改善を進めてまいりました。

また、セルフヘルプグループを知るきっかけとして「インターネットでの検索」が最も高いことが明らかになりました。そうしたことから、セルフヘルプグループを必要とされる方に情報をお届けできるよう、Googleの非営利団体向けプログラム「Google Ad Grants」を活用し、検索キーワードにあわせてプラットフォーム上のミーティング情報が検索結果に表示されるように運用しています。

Q. あなたが参加したことがあるセルフヘルプグループまたは自助グループは何をきっかけに知りましたか



一般社団法人wreath 2024「セルフヘルプグループの認知度に関する調査」

まだまだいたらないところがあると思いますが、今後ともお使いいただく方々のお声やニーズをもとに運営してまいりたいと思います。インタビューなどでお力添えいただいた皆様、心よりありがとうございます。

ユーザーのお声

幼少期の経験から人との関わりを避けて生きてきました。たまたまwreathでセルフヘルプグループを知り、対話による経験の言語化が孤独を和らげ、社会とのつながりを取り戻す力になると知りました。まだ自分のことを上手く話せませんが、いつかここで良い出会いがあることを楽しみにしています。

wreathは、信頼できる自助グループが見つかる素晴らしい場所だと思います。開催者にとっても、ユーザーフレンドリーなデザインと使いやすさが魅力であり、私は温かみのあるデザインも大好きです。これからもwreathによって自助グループへの認知が広がり、セルフヘルプの場が必要な方に届くよう、願っています。

登録してイベント情報を公開したら、さっそくwreathを見て参加したという方がいらっしゃいました。自分自身が他のセルフヘルプグループのことを知るきっかけにもなり、大事なプラットフォームだと思っています。応援しています。



2025年3月 HPリニューアルにともないユーザーのお声を募集した際にいただいたもの

セルフヘルプグループ運営のわかちあいの場

wreath plus

セルフヘルプグループのプラットフォーム wreathの利用改善にともないセルフヘルプグループの開催者の方々からお話をうかがうなかで、しばしばグループ運営についての悩みを聞かせていただくことができました。そこで、秋頃に改めてグループ運営に関するインタビューをさせていただいたところ、グループ間の横のつながりがあればといったお声が多くあがりました。

いただいたお声をもとに「セルフヘルプグループ運営とファシリテーション 安全な場づくりについて考える」というテーマで、情報交換会ならびに交流会を実施。会のあとのアンケートでは、おかげさまで満足度の高い会になったことがうかがえました。ご感想からもグループ運営についてわかちあえる場の必要性を感じ、2025年度よりwreath plusと題して、セルフヘルプグループ運営のわかちあいの場を開催してまいります。

■ 開催概要

日時:2025年1月16日 19:00-21:00

場所:オンライン

ゲスト:高松里 先生(九州大学、一般社団法人
ライフストーリー・バンク)

参加者:10名(運営2名含む)



ご参加いただいた方々からのご感想

普段交流のない分野のピアサポートグループの運営の方とお話出来て、非常に貴重な経験になりました。運営として悩みを抱えながらも、グループをより良くするために努力しておられる皆様に感銘を受けました。また、運営という立場を意識しすぎるのではなく、グループの参加者の方々と対等に付き合っていくことが、グループの安全を守ることに繋がるのだと感じました。またこのような勉強会・交流会の場を設けていただけますと幸いです。

今までこういう「主催者のための自助グループ」みたいなものにも多く参加してきて、割と近いタイプのグループの事が多かったのですが(例えば、発達障害+精神障害+ACのような)、昨晩は、様々なタイプの会が集まって良かったと思います。その分、全体でそれぞれの活動などを話す時間が、もう少しあっても良かったかなとも思います。とりあえず、とても楽しかったです、ありがとうございました。



楽しかったです！さまざまなジャンルのグループでも共通する運営ノウハウやルールがあるのが興味深かったです。また、参考になる事も多く、今後の運営の時にも皆さんのコメントを思い出しつつ活動していきたいと思いました。

wreath report

2024年11月に「セルフヘルプグループの認知度に関する調査」を実施しました。

日常を過ごしているなかで、自分や大切な人が病気や障害をもったり、事件や事故の被害者や加害者になったりする可能性は誰しもがもっているものだと思います。そうしたときに、セルフヘルプグループが力になれることがあるかもしれません。

しかし、セルフヘルプグループの存在はまだ十分に知られていません。本調査は、悩みや生きづらさを抱えたときの選択肢の一つとしてセルフヘルプグループの社会的認知を広げる必要があると考え、セルフヘルプグループの認知度の現状を把握するために実施いたしました。

■調査概要

- ・調査タイトル:セルフヘルプグループの認知度に関する調査
- ・調査期間:2024年11月11日～2024年11月13日
- ・回答者:20～69歳の男女 2202人
- ・調査方法:インターネット調査
- ・エリア:全国

>> 調査結果の詳細は
こちらのQRコードより
ご覧いただけます



かつて、「セルフヘルプ・グループは人類の文化遺産である」と言った人がいましたが、セルフヘルプ・グループ（以下、SHG）は人びとが生きていくうえで非常に重要なものであり、SHGが活動しやすい社会的環境があるということは、その社会が豊かであることの一つの条件だと考えます。しかし、現在の日本の社会においてSHGがどの程度どのように浸透しているのかは、かならずしも明らかにされてこなかったように思います。そのようななか、今回の調査には大きな意義があると思います。いずれもシンプルな質問ですが、結果は非常に興味深いものです。認知度、参加率、参加のきっかけが示されたことの意義は大きく、加えて、「内容はわからないが言葉は知っている」人たちが「言葉を知っていたが参加したことはない」人たちが一定数存在することが示されたこと、そして、「言葉は知らなかったけど参加したことがある」人たちが少数ながら存在することが示されたことは、今後、どのような資源や活動があればSHGが社会に浸透していくのかを考えるうえで貴重な手がかりになると考えます。

大阪公立大学 松田博幸先生よりコメントをいただきました



お力添えいただきありがとうございました！

一般社団法人wreathは、2024年4月8日に設立いたしました。設立や運営にともない、多くの方々に活動を支えていただきました。心より御礼申し上げます。

■ 助成や事業支援プログラムなどを通じて活動を支えていただきました。



NPO法人
Accountability
for Change 様



認定NPO法人
サービスグラント 様



公益財団法人葉田財団 様



NPO法人ETIC. 様



デロイト トーマツ 様

■ ご寄付については、月額寄付サポーターの皆様、都度のご寄付をいただいた皆様、延べ11名の方々に活動を支えていただきました。心より感謝申し上げます。

代表メッセージ



一般社団法人wreath
下村真代

wreathの活動を応援していただいているすべての皆様に心からの感謝を申し上げます。2024年は、法人を設立し一般社団法人wreathとしての活動がスタートした1年でした。

セルフヘルプグループに私自身が助けられたことが、wreathの活動のきっかけとなっていますが、セルフヘルプグループと一言にいってもさまざまです。そのため、セルフヘルプグループにかかわる方々からお話を聞かせていただくことを大切にしながら活動を進めてまいりました。インタビューなどで、お力を貸してくださった皆様には心よりお礼を申し上げます。

いただいたお声をもとに活動を3つに整理しました。

セルフヘルプグループのプラットフォームの運営のほか、セルフヘルプグループ運営のわかちあいの場の開催とセルフヘルプグループに関する調査・情報発信です。今後は、この3つの活動を軸にセルフヘルプグループを必要としたときにつながれる仕組みづくりに取り組んでまいります。

悩み、戸惑うことがあっても、応援していただいている方々に支えられ励まされる日々です。感謝がつかえません。未熟でいたらないところがあると思いますが、これからもwreathの活動を応援していただけますと幸いです。



2024年度活動計算書

(2024年4月8日から2025年3月31日まで)

科目	金額 (単位: 円)	
経常収益	受取寄付金	1,216,783
	受取助成金	1,000,000
	事業収益	0
	その他収益	2,731
経常収益合計		2,219,514
経常費用	(1) 事業費	
	給料手当	0
	通信運搬費	2,940
	旅費交通費	144,548
	諸謝金	91,000
	会議費	8,950
	租税公課	1,021
	支払手数料	81,384
	新聞図書費	15,746
	広告宣伝費	690,491
	交際費	18,192
	研修費	4,000
	外注費	328,979
	事業費合計	1,387,251
	(2) 管理費	
	給料手当	0
	租税公課	61,200
	支払手数料	69,147
	広告宣伝費	20,343
	管理費合計	150,690
経常費用合計		1,537,941
当期正味財産増減額		681,573
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		681,573

受取寄付金

法人化前にいただいたご寄付1,134,531円と、法人設立後にいただいたご寄付82,252円になります。活動を支えていただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

旅費交通費

採択いただいた助成プログラムの参加にともなう交通費ならびに宿泊費が主な内容となります。

諸謝金

プラットフォームの利用改善にともなうインタビューの謝金が主な内容となります。費用の一部は助成金を活用させていただいています。

支払手数料

調査にともなうアンケートソフトの使用料ならびにzoomの年間利用料です。

広告宣伝費

団体ホームページの改修費、プレスリリース配信費、認知度調査のリサーチ費、リーフレットや名刺の印刷費などです。費用の一部は助成金を活用させていただいています。

外注費

プラットフォームの改修費、認知度調査の設計・分析費などです。費用の一部は助成金を活用させていただいています。

支払手数料

プラットフォームのサーバー代、バーチャルオフィス使用料、寄付決済システムを用いた際に発生する手数料などです。

Information

wreathでは、どのような悩みや生きづらさを抱えたとしても支えあえる社会をつくっていくために月額寄付サポーターさんを募集しております。なお、都度のご寄付でも大変ありがたく大きな力になります。お力を貸していただけますと幸いです。



>> こちらのQRコードよりご支援いただけます
※シンカブルという寄付フォームにつながります



Self-help groups by everyone's side.

一般社団法人wreath

〒651-0084

兵庫県神戸市中央区磯辺通1丁目1番18号カサベラ国際プラザビル707号室

<https://www.wreath.or.jp/>

